

「恋人の聖地」 大町 恋愛小説に

執筆・畑野智美さん来訪



NPO法人「地域活性化支援センター」(静岡市)が「恋人の聖地」に選定した大町市を舞台に、恋愛小説を書く作家の畑野智美さん(34) 11東京 11が4日、取材で同市を訪れた11写真。市役所で牛越徹市長と対談した畑野さんは、「住んでいる人ではなかなか気付かない、外から見た大町の魅力を伝える作品にしたい」と話した。5日は青木湖や国宝仁科神明宮などを取材する予定だ。

恋人の聖地は全国121カ所。同センターと新潮社(東京)は昨年、7カ所を選び、作家7人がそれぞれの場所を題材に短編小説を書く企画を実施し、同社の「小説新潮」の昨年12月号に掲載した。今

年も同様の企画を立て、11月22日発売の12月号に載せることを決めた。

この企画を知った大町市が小説化を希望し、黒部タムに

興味がある」という畑野さんが執筆することになった。畑野さんは2010年に「国道沿いのファミレス」で小説すばる新人賞を受賞している。